

津の養豚場で豚熱

4頭陽性 1万頭殺処分へ

三重県は十四日、津市の養豚場の豚が、豚熱（CSF）に感染したと発表した。県内の養豚場での発生は、昨年十二月に伊賀市で発生して以来で三例目。県は同日午後十時、この養豚場で飼育する約一万頭の殺処分を始めた。殺処分の規模としては県内最大で、自



豚熱が発生した養豚場に向かう防護服姿の県職員たち＝14日午後9時49分、津市で

衛隊の応援も得て二十四日までの終了を目指す。

県によると、この養豚場では三月二十六日から豚が相次いで死亡。四月十三日に八頭が死んでいたと報告があり、いずれもワクチン接種ができない生後四十七日の子豚だった。県は十三日、八頭のうち四頭を検査し、いずれも陽性だった。十四日の国の検査で陽性が確定した。

県は殺処分と並行し、この養豚場の防疫措置を三十日にも終える予定。県内でワクチン接種が進んでいるため、周辺の養豚場で出荷や移動の制限は行わない。

県は十四日夜に対策本部会議を開催。鈴木英敬知事は「全県挙げて迅速かつ確

実に防疫措置を行ってほしい」と呼び掛け、感染経路とみられる野生イノシシの捕獲をさらに増やす対策を示した。県によると、豚熱は人にはうつらず、感染した豚の肉を食べても影響はない。